

【市民提案】

4. 川崎宿まちなみの整備

【主旨】

1. 東海道川崎宿沿線を、現在のまちなみと調和をとりながら、宿場町としての風格や趣のあるまちなみ形成を提案します。
2. 宿場町としての当時の面影を残す事物が少ない中で、宿場のイメージが想起できる事物の保存や、新たな発見と復元、顕彰碑の建立、まちなみの形成に取り組みましょう。

【内容】

1. シャッター・浮世絵ギャラリーの整備

- 商店や金融機関等のシャッター、銀行や消防団事務所などの公共・公益施設のウィンドウに浮世絵や川崎宿をイメージした絵を描きましょう。
- 浮世絵や川崎宿をイメージした絵を描くことによって、江戸時代のイメージを表出するとともに、商店が休業の場合は、単なるシャッターではなく、絵やイラストが描かれていることで、まちに彩りや華やかさを演出しましょう。
- 当面は、協力店・事業所を募り、描けるところからとりかかりましょう。
- 公共・公益施設には、建て替えや改築の際に協力をお願いします。
- 将来的には5つのゾーンごとにテーマを決め、テーマに合った絵を描いていきましょう。



商店のシャッターに描かれた浮世絵(品川宿)



信用金庫のショーウィンドウにも江戸市民の姿が描かれている(品川宿)

2. 水路の復活

- 蓋掛け、暗渠化され、現在は道路など他の用途に使用されている水路について、その歴史がわかるような案内や解説版の設置を提案します。
- 既存の公園を再整備する際に、宿場時代の水路をイメージした水辺を配置することで、まちに潤いを与えましょう。
- 道路の一方通行化による歩道の拡幅などが可能になった際には、歩道沿いにせせらぎを設けるなど、水路を復活させましょう。



ニューヨーク、SOHOセンター付近の商店街のフラッグ

3. フラッグ・幟作戦の展開

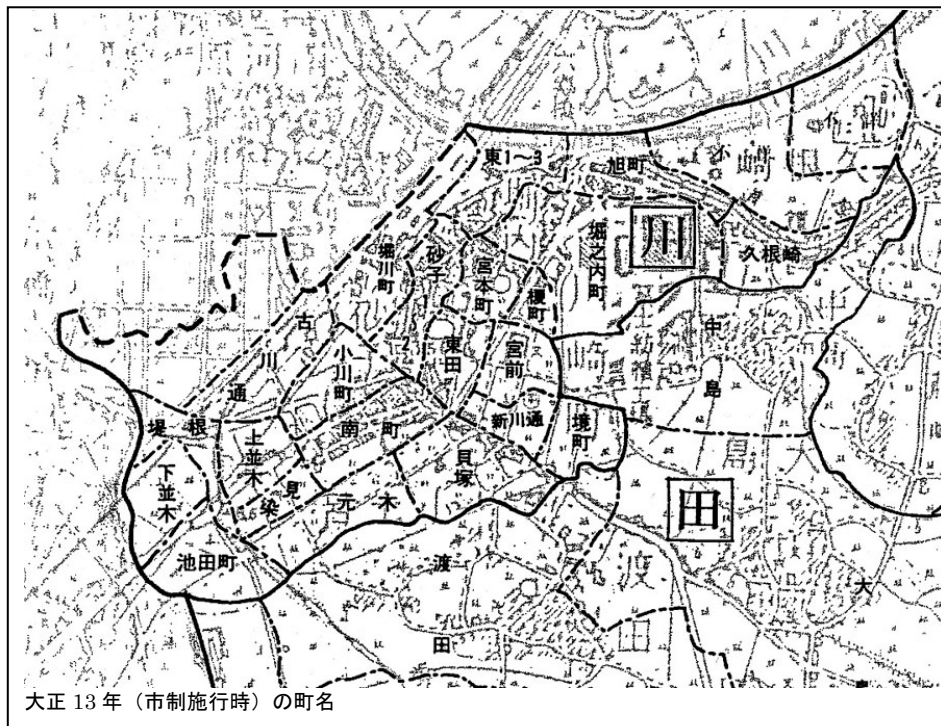
- まちなみを、川崎宿をイメージした色とりどりのフラッグ（旗）や幟（のぼり）などで飾り、まちに賑わいを出しましょう。
- 5つのゾーンや、旧町（久根崎、新宿、砂子、小土呂）ごとに色やデザインを変えて、それぞれの特徴を出しましょう。



中山道彦根の江戸時代のまちなみを再現した商店街「夢京橋キャスルロード」には水路が通っている

4. 旧町名看板の設置

- 見染町、上並木、下並木など、昔の町名と由来を書いた案内板の設置を提案します。
- 案内板は木製の屋根付きに江戸文字で表記するなど、川崎宿をイメージした素材やデザインを工夫しましょう。
- また、宿場の出入り口に当たる棒鼻には、川崎宿の解説板の設置を提案します。



5. 江戸意匠の採り入れ

- 東海道沿線の公共施設の看板、ベンチ、水飲み場などを素材を木製にし、屋根をつけるなどデザインに江戸的な要素を取り入れましょう。
- また、文字も毛筆体の江戸文字を使用するなど、まちなみに川崎宿の面影がしのばれるように工夫しましょう。
- 手はじめに、江戸時代の寺子屋玉淵堂が前身である川崎小学校の看板と解説板を、江戸の趣のあるデザインで設置しましょう。
- 歩道を整備する際には、川崎宿ゆかりの浮世絵や歌などを焼きつけた舗装板、またはタイルを埋め込み、文化にふれながら楽しく歩けるしかけをつくりましょう。
- 川崎警察署の建て替え時には、歩道部に宿場をイメージしたイラストを埋め込んだり、敷地の一部に松の木を植えてもらうなど、協力をお願いします。



公園のブランコに瓦屋根（品川宿）



街道筋の小学校の看板を木製にし、字体も江戸時代風のものに（品川宿）



大山街道沿いの商店にはその歴史などを記した口上書きがある（川崎市高津区溝口）



本陣跡地にできた公園には、本陣の規模や間取りをしめた絵が地面に埋め込まれている（品川宿）

- 街道筋の古い商店などの前に、その歴史や由来を記した口上書きの設置を提案します。
- 街道に面した商店や住居、その他建築物の建て替えや新築の際には、格子戸やなまこ壁など、江戸風のデザインを取り入れるよう推奨します。



高札場を復元すれば、まちなみの雰囲気が大きく変わる（写真は神奈川宿で復元された高札場）

6. 蔵の保存

- 川崎宿内に残っている3つの蔵は個人が所有しているため、区民の意思で保存して行くのは困難ですが、川崎宿のまちなみを形成する上では貴重な資源です。
- まちなみ整備を進める中で、景観としての蔵の必要性を確認し、持ち主に協力をお願いし保存・活用の方法を探ります。
- また将来は、休憩所やギャラリーとして開放してもらえるようにお願いします。



川崎宿の旧東海道付近に残る蔵

7. 行灯作戦の展開

- 夏の夜の宿場町の賑わいを演出するために、各商店・事業所などの入り口に和紙で作った行灯を置きましょう。
- 電柱やショー・ウインドウの電灯の光量を少なくして、行灯の温かく、目にやさしい光が、夜の川崎宿を包み込むような仕掛けをしましょう。
- 将来的には「行灯祭り」などを開催し、川崎宿の名物となることを目指しましょう。



2003年3月に再現整備された横浜の馬車道商店街のガス灯



新潟県村上市 宵の竹提灯まつり

8. 川崎宿写真・絵画コンテストの開催

- 東海道川崎宿のまちなみや風景を題材とした写真や絵画のコンテストの開催を提案します。
- 応募作品や入賞作品を街道筋の商店などに飾ります。また、期間限定で旧街道の一定区間を野外ギャラリーとした作品展示を行いましょう。

【実現に向けて】

1. 商店街・事業所などとの連携・協力

- 東海道に面する商店街・事業所などとの連携、協力を得ながら進めます。
- シャッター浮世絵ギャラリー、フラッグ作戦、行灯作戦などは、各商店・事業所などの積極的な取り組みがあって、初めて実現が可能になります。

2. 行政との連携・協力の必要性

- 看板、サインなどへの江戸意匠の取り入れ、まちなみに合った街路灯や歩道の整備など、ハードな施設の整備は、行政との連携、協力を得ながら進めましょう。
- まちなみ整備に関する担当部局ときめ細かな意見交換の場を持ったり、川崎宿デザインマニュアルの作成を進めます。

3. 川崎宿の全体イメージとゾーン別イメージの確立

- 川崎宿全体のイメージとゾーン別のイメージを明確に確立し、統一感のあるまちなみを整備しましょう。